

## 絵本に触れ合える環境を

市では、第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画を策定し、平成31年度から令和5年度までの5年間で大切にしたい4つの読書活動として、「続ける読書」、「学べる読書」、「つながる読書」、「心あそびせる読書」を挙げ、家庭や地域、校園所などで、日常的に読書に親しんでいます。



### ブックスタート

ブックスタートは、すべての赤ちゃんのまわりで楽しくあたたかいひとときがもたれることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手わたす活動です。

市では、市内に生まれたすべての赤ちゃんを対象に、市民保健センターで実施する4カ月児健診時に絵本を一冊プレゼントしています。

### ふるさと納税の寄付金で絵本を充実

### 絵本に囲まれて育つ子ども推進事業

市内の保育所（園）・認定こども園・小規模保育事業所・家庭的保育事業所・幼稚園へ新しく絵本を購入し、絵本環境を充実させることにより、健やかで心豊かな子どもの育成を図ります。

### 本のまち！動く図書館事業

移動図書館車を導入し、市内の各ステーション（遠隔地の校園、各コミュニティセンターなど）を定期巡回します。また、本市には多くの観光客が訪れることから、市内のイベントなどに出向き、どのような場所でも、誰もが本に触れあえる環境づくりと読書の普及を図ります。



市内在住の石田由紀さんと美咲ちゃん親子。近江八幡図書館へは美咲ちゃんへ読んであげたい絵本を選びによく訪れるそうです。1歳の美咲ちゃんは動物やくだものが描かれた絵本、ひっぱったりめくったりするしかけ絵本が大好き。絵本を読んでいるときは、好きなものが出てくると、指をさしてお母さんに教えてくれます。

### 図書館でのおはなし会

図書館司書や地域のボランティアグループが子どもたちといっしょに、絵本やわらべうた、手遊びを楽しみます。

#### 第1金曜日「絵本の時間」

（安土図書館）

#### 第2土曜日「おはなし研究会おはなし会」

（近江八幡図書館）

#### 第3水曜日「おはなしメリーゴーランド」

（近江八幡図書館）

#### 第3土曜日「安土童話クラブおはなし会」

（安土図書館）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間休止します。



さくらっこ保育園での絵本の読み聞かせ



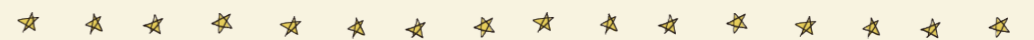
桐原保育所での絵本の貸し出し

### 就学前施設で絵本と出会う

市内の保育所（園）・認定こども園・幼稚園をはじめとする就学前施設では、子どもたちが絵本に触れ合うきっかけづくりをしています。例えば、図書館では、公立幼稚園、認定こども園・保育所へ隔月で図書館からのおすすめ絵本セットをお届けしています。子どもたちが絵本を持ち帰ったら、一緒に絵本の世界を楽しんでください。字が読めるようになって、大人が読んであげてください。また、桐原保育所では、毎日が忙しく過ぎる中、親も子もほっとできるような絵本の時間を楽しんでほしいと第2・4水曜日の月2回、お迎えにきた親と子どもと一緒に絵本を選んでもらい貸し出しています。さくらっこ保育園では週3回、地域のボランティアの皆さんによる絵本や紙芝居などの読み聞かせが行われています。



## 絵本のある暮らし



**1冊の絵本が持つ力は、私たちが想像する以上に大きく、子どもたちの生きる力につながります。幼い時期の「生きた言葉」の体験は、子どもたちの心や言葉を育てます。**

**1日のわずかな時間でもかまいません。テレビやパソコン、スマホから離れて、親子で絵本を楽しんでみませんか。**

## 2歳向け



**ペンギンたいそう**  
齋藤 積／さく  
(福音館書店)

からだを使って楽しめる絵本。毎朝起きたら親子でこの体操をしてみませんか。おふとんから出られない子にも「体操するよ～」と試してみてください。働くお母さんへ、出かける前に短い時間でできる親子のスキンシップに。



**たべたのだあれ**  
五味太郎／さく  
(文化出版局)

たべものの名前がわかるようになったら楽しみたい絵本。子どもがあてたらほめてあげてくださいね。

## 0・1歳向け



**くつついた**  
三浦太郎／さく  
(こぐま社)

絵も言葉もすごくシンプル。それなのに、読んだ後、とてもあたたかい気持ちになれます。みんなは、どのくつついたが好きかな？いろいろ試してみてください。シリーズで『なーらんだ』『わたしの』があります。



**ごぶごぶ ごぼごぼ**  
駒形克己／さく  
(福音館書店)

「ぶーん ぶく ぶく ぶく ぶくん」という音とともに黄や赤、青の丸が現われ、大きくなったり、うねったり。水や海、泡をイメージした音と色の一大スペクトルです。抽象的な絵本ですが、幼い子どもは耳と目で十分に楽しめます。

## この本、知っているよ！

図書館では、0歳から5歳までのそれぞれの年齢に応じた、市内の子どもたち全てに出会ってほしい基本図書の絵本リストを作成しています。絵本は、リズムのあるよびかけと繰り返しのあるもの、絵だけでも十分にお話の内容が想像でき、生き生きと描かれているもの、子どもの興味にあったもの、本の主人公と心を合わせて聞けるものなどを中心に選んでいます。ぜひお気に入りの一冊を見つけてください。



リストは図書館で配布しています。掲載した以外にもたくさん絵本を紹介しています。ぜひご利用ください！

近江八幡市立図書館  
司書 伊藤 亜希子

## 5歳向け



**あくたれラルフ**  
ジャック・ガストン／さく  
ニコール・ルーベル／え  
(童話館出版)

あくたれねこのラルフはセーラのねこです。ある日、ラルフはいたずらがひど過ぎで、かぞくから置き去りにされてしまいます。子どもたちはラルフと自分の姿を重ねて、いたずらを楽しんだり、悲しい思いやほっとする気持ちを感じながら、絵本を楽しみます。



**くまのコールテンくん**  
ドン・フリーマン／さく  
(偕成社)

おもちゃうりばで売られていたくまのコールテンくんは、ズボンのつりひものボタンが取れていて、誰も買ってくれません。そこで、コールテンくんは、真夜中、ボタンをさがしにでかけます。真夜中の冒険とそのあとの思わぬ結末が心に残ります。

## 4歳向け



**はたらくくるま**  
バイロン・バートン／さく  
(ポプラ社)

さあみんな、しごとにかかろう。いろんなくるまを使ってね。クレーンで古いビルをこわし、ブルドーザーで木をどけて、トラックで石を運びます。はたらく車のカッコよさと力強さを、シンプルな鮮やかな色彩で描いています。車好きの子に。



**ふたり**  
瀬川康男／さく  
(富山房)

ねこことねずみのおはなしが、瀬川さんの美しい絵と、たった三文字の「り」がつく言葉で構成された絵本。簡潔明瞭なことばが耳に残り、ことばのおもしろさが堪能できる絵本。瀬川さんの絵がことばのおもしろさを余すところなく伝えています。

## 3歳向け



**サンドイッチ サンドイッチ**  
小西英子／さく  
(福音館書店)

サンドイッチをつくろう。パンにバターを塗って、レタスに真っ赤なトマト、チーズとハムをのけたら、お次は何をさみましょう？鮮やかな絵が食欲をそそり、おいしそうなサンドイッチが完成すると子どもたちの歓声が上がります。



**ちいさなねこ**  
石井桃子／さく  
横内襄／え  
(福音館書店)

こねこの初めての大冒険のおはなし。こねこがどうなるのか、自分とこねこを重ね合わせて子どもたちは、おはなしを聞きます。犬に追われる場面では緊張している子どもたち。こねこが助かった場面では、その場がホットとした安堵の空気へと変わります。



6月24日の贈呈式にて写真左から山本紀代子さん、植村とみ子会長、小西市長、川端咲子さん、井上京子さん。

## 国際ソロプチミスト近江八幡から今年も絵本をいただきました

子どもたちへの教育支援や子育て支援を事業の柱として活動している国際ソロプチミスト近江八幡。今年いただいた絵本の選書を担当した川端咲子さんからメッセージをいただきました。

国際ソロプチミスト近江八幡は2007年より、「子どもたちの健やかな成長を願って」毎年、市内の就学前教育・保育機関へ絵本を贈呈させていただいております。今年33園・所に2冊ずつお届けし、13年間で816冊の絵本をお届けしたことになりました。子どもたちが読み聞かせをされる大人たちの愛情を感じとり、また、小さな手でページを繰り、絵本の世界を心から楽しむ姿を思い浮かべられる私たちの喜びもあり、長きにわたり続けさせていただけました。物語の中で出会うさまざまな人々、動物、自然や物を通して、読書の楽しさを知っていただき、子どもたちの将来に何か新しい出会いを作る礎になってもらえたらと祈っています。これからも私たちはこの活動を続けてまいりたいと思います。

13年間、816冊分の  
の  
ありがとう！

## 今年いただいたのはこの2冊



**おどりたいの**  
豊福まきこ／作  
(BL出版)

森のはずれでバレエに会った、まっ白な子うさぎ。一目で優雅な世界に引き込まれたうさぎは、勇気をだして扉をたたきます。先生は優しく迎えてくれて、やがて…。知らない世界に飛び込む勇気を、後押ししてくれる絵本。



**やさいさん**  
tupera tupera／さく  
(学研プラス)

畑でやさいさんがかくれんぼ！やさいさん、やさいさん、だあれ。すっぱーん、と出てきたのは、にんじんさん。カラフルなやさいさんがいっぱい、楽しいしかけ絵本。



## インタビュー

### 自分たちが住む場所の良さ、足もとにある良さを見つけて

「生命力のある動物をいきいきと描きたい」と話すはやしますみさんは、市内在住の絵本作家。画面いっぱいに描かれた力強くユーモラスな動物たちは、子どもだけでなく大人をも魅了します。「日常で心に引っかかるできごとや体験を物語として描き、読んでくれた子どもたちが作品を体験してもらえるような絵本をつくりたい」とはやしさん。作品には近江八幡の豊かな自然やそこに暮らす動物がいっぱい。代表作である「たんぼレストラン」では、近江八幡に広がる田んぼの風景やそこに生きている約70種類の動物たちが描かれ、猫たちのお盆を描いた「ねこぼん」で登場する猫たちが暮らす島は沖島を連想させます。「自分たちが住む場所の良さ、足もとにある良さを見つけてほしい」と願うはやしさん。創作活動のほかにも、安土小学校では、絵本の読み聞かせにあわせ、地元のおじいさん、おばあさんが安土弁で話す昔話を聞き取り冊子にした「あづちのふるさとぼなし」のお話もされています。また、西の湖で創作を楽しみながら、遊んでいるうちに自然や歴史を学ぶ「西の湖あそび隊」、沙沙貴神社でワークショップを行うなど精力的に活動されています。

来年度から運行する移動図書館車にイラストを描きます。楽しみにしてくださいね！



絵本作家 はやしますみさん

1968年京都府宇治市生まれ。安土町下豊浦在住。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。ギャラリー Vie 絵話塾5期絵本コース終了。第10回ピンポイント絵本コンペで優秀賞受賞。

### 「近江八幡」と出会えるはやしさんの2冊



**たんぼレストラン**  
(ひかりのくに)

たんぼにやってくるかえるやとりたちにとって、たんぼはレストラン。食べて食べられてを繰り返す命の輪。「食べる」ということは何かを伝える一冊です。



**ねこぼん**  
(偕成社)

おぼんの夜、みずうみにうかんだ小さなねこの島では、きゅうりの馬に乗って、ごせんぞのねこたちが帰ってきました。月あかりの下、ねこたちは朝までおどります。